

○学校から借いた本は、なくさないように家で保管しましょう○

図書館の本は、8月31日(水)までに返却しましょう。

～夏休みにおすすめの本～

時間のある人は、ラトブにある公共図書館などに行ってみるのもおすすめです。

1. 2年生におすすめ



「ポタンちゃん」
小川 洋子 / 作
岡田 千晶 / 絵
PHP出版

ポタンちゃんは、アンナちゃんのブラウスの一番上にとまっています。ポタンちゃんのなかよしは、なんといってもポタンホールちゃんです。

ポタンちゃんとポタンホールちゃんは二人でひとつ。いつも一緒です。ところがある日、ポタンちゃんをとめていた糸がきれてしまって・・・

ジャリーン！ほら、きこえた？ある日は、ゆうたは手紙にかかれていた地図をたよりに、ひみつの場所をたずねます。そこは、人の気持ちをあずかる「ひみつの気持ち銀行」ジャリーン！チャリーン！次々といろんな気持ちが入ってきます。「気持ち通帳」がいっぱいになったらどうなるの？！



「ひみつの きもちぎんこう」
ふじもと みさと / 作
田中 六大 / 絵
金の星社

アリとくらす、知られざる虫たちの世界。アリに姿をにせて身をかくす虫や、アリと助け合う虫などおどろきの姿を紹介します！

私は「小さなみずたま」。ネコが水を飲んだボウルのそこにひとつぶ残ったの。お日さまに照らされて、空にまい上がり、雲にのり、雨になって、また土の中へ。そして、川から海へまた旅を続ける・・・。形を変え、姿を変えて。わたしの行き着く先はどこ？



「みずたまのたび」
アンナ・クロザ / 作
こだま しおり / やく
西村書店

あたしの妹、1歳の芽生。
まだ、歩けないし、立てないし、ハイハイも、おすわりも出来ない。そういうことが出来るようになるかも正直分からない・・・。
だけど、芽生はあたしのそばにいる。
あたしはいつも、芽生のそばにいる。

リッキーとアンは、おじいちゃんの家に向かう汽車の旅の途中、思いがけず見知らぬ町で一泊することになりました。そこは「さかさ町」建物も看板も上下ひっくりかえっていて、ホテルや病院、学校の常識も、野球の試合や買い物のルールもいちいち普通とは反対なのです。
こんな町が本当にあったら、みんな、どうする！？



「さかさ町」
F・エマーソン・アンドリュース / 作
ルイス・スロボドキン / 絵
くもん出版



「アリとくらすむし」
島田 たく / 写真・文
ほるぷ出版

3. 4年生におすすめ



「二日月」
いとう みく / 作
丸山 ゆき / 絵
そうえん社



「木のすきなケイトさん」
H・ジョセフ・ホプキンス/文
ジル・マケルマリー /絵
BL出版

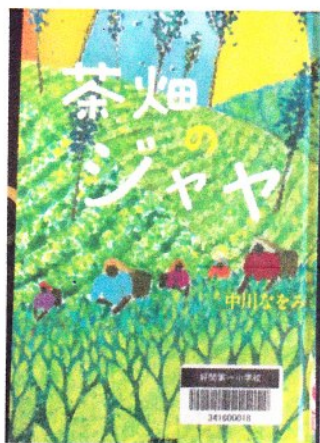
ケイトさんは、森の中で遊び、木が友だち。木の勉強が何より好きなのです。けれど、大きくなって、木のない砂漠の町にくらすことになり……。ケイトさんはどうしたと思いますか？これは、本当にあった木の大好きなケイトさんのお話です。

コロッケ先生こと、小六信和さんは小学校や中学校を回り、古紙のリサイクル授業を行っています。子ども達との合言葉は「紙はゴミじゃない！」コロッケ先生の願いとは何なのでしょう。さあ！みんなもこの本を手にとって、実験あり、クイズありの楽しい授業をのぞいてみよう！



「コロッケ先生の情熱
古紙リサイクル授業」
中村 文人 /文
佼成出版社

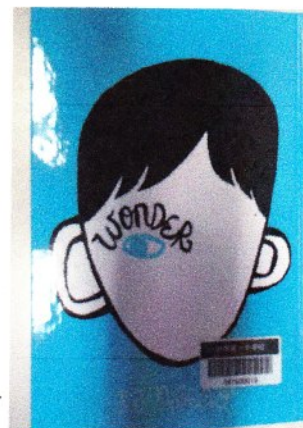
5. 6年生におすすめ



「茶畑のジャヤ」
中川 なをみ /作
鈴木出版

成績優秀なのが災いして、クラスで仲間はずれにされ、孤立していた周は、おじいちゃんに誘われて冬休み前にスリランカに行くことになった。そこで、茶畑で茶摘みの手伝いをしている少女、ジャヤと出会い、そこで、民族の対立で内戦状態となったスリランカの歴史を知ることになる。そんな中、相対する民族の両方の血を引くことに民族の誇りと希望を持つジャヤの姿は、周の生き方にどんな影響を与えていくことになるのか……。

オーガストは、普通の男の子。ただし、顔以外は。生まれつき顔に障害があるオーガストは、10歳で初めて学校に通うことになった。周りの子ども達は、オーガストを見て悲鳴をあげ、じろじろ眺め、やがて……。もし、あなたの周りにそんな友だちがいたらどうしますか？もし、あなたがオーガストと同じ立場だとしたら、あなたはどうしますか？



「ワンダー」
R・J・パラシオ /作
中井 はるの /訳
ホルプ出版



「ここで土になる」
大西 暢夫 /著
アリス書房

昔、その村には、たくさんの人が住んでいた。植物も着る物も全てがその村にあった……。しかし、その村をある悲劇がおそう。しばらくすると、村人が1家族、2家族と引っ越して行った。その村にたった2人になっても住み続けているのがいる緒方さん夫婦だ。二人は、畑を耕し、次の世代のためにと、畑の石を拾い続けている。緒方さん夫婦の日常と思いを写真家大西暢夫が静かな目で見つめ続けた記録。

祝ノーベル生理学・医学賞受賞！微生物の中から2億人を救う発見をした化学者・大村智の半生。大村先生は、「何を思い、何を考え、行動していったのか」みんなは、この本からどんなメッセージを受け取ることができますか？



「大村智ものがたり
苦しい道こそ楽しい人生」
馬場 練成 /著
毎日新聞出版